

社会的スキルトレーニングの 成果を高める要因の検討 (3) ートレーニング回数と評価に着目してー

○小川一美 (愛知淑徳大学)
松本明日香 (愛知淑徳大学大学院)

太幡直也 (愛知学院大学)

キーワード：社会的スキル、トレーニングの成果、トレーニング回数

問 題

社会的スキルトレーニングは、対人関係能力やコミュニケーションスキルの向上を目的に幅広い対象者に実施されている。しかし、トレーニングの成果を左右する具体的な要因についての検討が十分に行われているわけではない。本研究ではトレーニング回数により参加者のトレーニングに対する評価が異なるのか、また、評価と何がトレーニング成果を高める要因だと思うかとの関連が回数により異なるか否かを検討する。

方 法

調査対象者 トレーニングを1回受けた者は大学生18名(男性3名、女性15名)、8回受けた者は13名(男性12名、女性1名)、15回受けた者は18名(男性15名、女性3名)であった。いずれも太幡(2016)のトレーニングの一部あるいはすべてを実施し、個別に面接調査を行った。

質問項目 面接調査では、トレーニング実施者、参加者、内容、環境ごとに、“スキルトレーニングをもっとやりやすくするには、どのようにしたらよいと思うか”について自由に回答させた。さらに、“トレーニングは楽しかった(楽しかった)”, “トレーニングは自分に必要だと思った(必要)”, について、視覚的評価法(VAS)により評定させた。

発言の分析方法 太幡・小川・松本(2016)と同

様であった(Table 1の分類参照)。

結果と考察

楽しかった、必要については、VASのマーク点に基づき得点化した(0~100)。トレーニングに対する評価をトレーニング回数により比較したところ、“楽しかった”は回数による有意差は見られなかった($F(2, 46)=0.56, ns, \eta_p^2=.02$ 。1回 $M=69.0, SD=18.0$; 8回 $M=74.4, SD=16.7$; 15回 $M=74.7, SD=18.3$)。“必要”は、1回よりも15回の方が有意に得点が高かった($F(2, 46)=4.55, p=.016, \eta_p^2=.17$ 。1回 $M=77.6, SD=16.0$; 8回 $M=84.0, SD=7.2$; 15回 $M=90.0, SD=10.9$)。つまり、感情的な側面ではトレーニング回数による違いは見られないものの、回数が多くなると必要だと思うという認知的評価は高まることが示された。

次に、各得点の高さと各発言の有無(0=発言無し、1=発言有り)の関連を検討するため、トレーニング回数ごとに点双列相関係数を算出した(Table 1)。8回、15回になると“楽しかった”と各発言の間に有意な関連はなくなった。一方、“必要”では15回になると有意傾向であるが複数の発言と関連が示され、トレーニング実施者や内容、人間関係という要因が認知的評価に影響を及ぼす可能性が示唆された。

注：本研究は JSPS 科研費24730522の助成を受けた。

Table 1 トレーニング回数ごとのトレーニングに対する評価と発言の関連

大分類	小分類	楽しかった			必要だと思った		
		1回	8回	15回	1回	8回	15回
トレーニング実施者	適切な助言や指摘をする	.046	-.234	.379	.283	-.022	.313
	親しみやすい雰囲気に参加者に接する	-.094	-.207	-.181	-.300	.000	-.106
	トレーニングを円滑に進める	-.255	-.446	-.268	-.267	-.626 *	-.447 †
	資質のある人が実施する	-.068	.216	.134	-.142	-.154	.466 †
	参加者を知っている実施者が実施する	.023	—	—	.005	—	—
トレーニング参加者	参加者を知らない実施者が実施する	.190	—	—	.196	—	—
	参加者が意欲的に取り組む	-.330	.246	.046	-.146	-.183	-.282
トレーニング内容	参加者を意欲的にさせるトレーニングを実施する	.493 *	.214	-.018	-.002	.121	-.138
	参加者に役に立つ内容のトレーニングを実施する	.303	.132	-.360	.281	.246	-.284
	プログラムの順序を考慮する	—	—	-.136	—	—	-.438 †
	トレーニングの機会を増やす	.074	.226	-.001	.298	.132	-.028
トレーニング環境	物理的環境を整える	-.318	-.149	.270	.212	.309	-.115
	適切な人数の参加者で実施する	.518 *	.321	-.288	-.058	.045	-.127
参加者を取り巻く人間関係	異質な属性の参加者で構成する	.054	.141	.116	-.368	.072	.097
	親密度が低い参加者で構成する	.233	.115	-.038	.622 **	-.084	-.411 †
	異質な特性の参加者で構成する	-.242	.390	-.179	.020	.459	.024
	同質な属性の参加者で構成する	-.190	-.359	.129	.189	-.223	.059
	親密度が高い参加者で構成する	-.091	-.407	-.188	-.200	-.045	.184
	同質な特性の参加者で構成する	—	—	.015	—	—	.168

** $p<.01$, * $p<.05$, † $p<.10$